

プログラム実施の流れ

(1)学校にて授業内容の検討

協力団体(者)に授業を依頼する前に、児童・生徒に伝えてほしいことや事前学習・事後学習で何をするかなどを検討してください。

(2)学校から社協へ協力依頼書をFAXで送る【実施日より約2ヶ月前】

マニュアルP.9～21の「プログラム一覧」を参考に必要事項を記入し、社協へFAXして下さい。

【提出書類】

☆プログラムの協力依頼をする場合

福祉教育学習 協力依頼書 P.5

☆事前学習で車いすなどの貸し出し備品を使用する場合

備品借用書 P.6

※団体によっては社協を介さず直接学校から講師の協力依頼を連絡していただく必要がある団体もあります。詳しくはP.8をご確認ください。

※備品の貸出は社協にFAXを送信する前に在庫確認のためご連絡ください。

※記載内容に不備等がある場合は、社協よりご連絡を差し上げることがあります。

(3)学校と協力団体(者)が連絡調整・打ち合わせの実施

学校と協力団体(者)が授業実施に向け、**チェックリスト** P.7などを使用しながら打ち合わせをお願いいたします。

(4)授業実施

授業の前後に事前学習と事後学習(ふりかえり)を実施して学びを深めるようにしてください。車いすや白杖を使用して当事者体験をしていただくこともできます。